



令和6年度宇城市パートナーシップ・フェスティバル

毎年、男女共同参画をより身近に感じ、認識する機会として、パートナーシップ・フェスティバルを開催しています。

今回は、「思い込みや偏見はありませんか〜あなたの生き方が新しい明日をつくる」を大会テーマに掲げ、これからの新しい社会を一緒に考え、学ぶ一つの機会として開催します。



基調講演

「人は人から元気をもらう」

講師

口演家 矢野 大和 さん

日時 9月7日(土) 開場 12時30分

開会 13時30分

場所 ウイングまつばせ 文化ホール

※入場無料

※手話通訳サービスあり



松橋高校DX部がポスターやチラシ、展示用の啓発パネルを制作しました。

市 HP



みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934

ひろみち 本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



教室の中の インフォームドコンセント

5年生の教室。ヒロくんが転げ回って遊んでいた男の子がやって来て、「ねえ先生。ヒロちゃん、しょうがい者ね?」と言う。私が何故そんなことを尋ねるのかと逆に聞くと、ちがうとだろ?とまた聞く。すると、そばにいた友達が、「M先生がダウン症で言いよらしたばい」と代わりに答えた。私は子どもたちが「障害者」という言葉を使った場面に初めて出会った。進級したヒロくんは泣くことが多かった。動かなくなつて連れて来られては泣き、勝手に拝借した友達のを取り上げられては泣いた。

ヒロくんと作文を書いたこと

きょうこ

ヒロくんの机に、『おおきなかぶ』の本があつた私は「いっしょに読もうか?」と言つてページを開いた。短い文はヒロくん一人で読んだ。全部読み終わつて、もう一度読んだ。そのあと、ヒロくんに、「作文書こうか?」と聞くと、ヒロくんは「うん」と言つたから、先生の作

文用紙をもらつて書いた。わすれてわからない字があると、えんぴつは止まるけど、教えてあげると、「こーね、こーね」と言つてまた書く。とつてもおもしろそつに書きます。

座り込んだ時のヒロくんは手ごわいが、子どもたちの対応は多様だった。引つ張り上げ強引に連れていく子、声はかけるがすぐあきらめてしまう子。ただ彼女の接し方でヒロくんが泣き出すことはなかった。彼女はヒロくんにすることを伝え、OKするのを待つことができた。

インフォームドコンセントという医学用語がある。「ケアする立場とされる立場にはギャップがあり、ケアする立場は次第に横柄になっていく。情報提供と同意は対等な立場をつくらうとするもの」だそう。そんな言葉は知らないだろうが、子どもたちの世界には当たり前前に表れる。

通常学級から籍が消えていく子どもたちが増え続けている。でもね、共生社会の実現には子ども時代の学び合いが欠かせないと子どもたちが教えてくれるのです。



そのサイト大丈夫?

ネット通販で購入する前には確認を!

事例

ネット通販で購入した海外の商品が届かない、購入品が模倣品であると税関から通知が届いたなどの相談が寄せられています。

! こんなサイトには要注意

- サイト内の日本語が正しく表記されていない。
- 市場では希少なものが、このサイトでは入手可能となっている。
- ブランド、メーカー品で価格が通常より安い。
- 支払い方法が限定されている。振込先の口座名義が個人名義である。
- キャンセル、返品、返金のルールに記載がない。
- サイト上に事業者名や住所、連絡先の表記がない。

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277へ



出産を控える妊婦さんへ

産前産後は国民年金保険料が免除に

国民年金第1号被保険者が出産したとき、出産前後の保険料が一定期間免除されます。

● 免除期間

出産予定日または、出産日の月の前月から4カ月間の期間を免除。(多胎妊娠は、3カ月前から6カ月間)
※出産:妊娠85日以上のお産。死産、流産、早産を含む。

● 対象者

国民年金第1号被保険者で、出産日が平成31年2月1日以降の人(国民年金の任意加入期間は対象外)

● 申請時期

出産予定日の6カ月前から可能。出産後
もできます。

● 申請先

お住まいの市区町村または年金事務所

詳しくはこちら



郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

郷土資料館



開館時間 10時~17時

休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)

住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

1度目の侵攻 文永の役

— 元寇って知ってる?② —

文永の役は、元寇における1度目の侵攻で、元(モンゴル帝国)を治めていたフビライ・ハンの命により、文永11(1274)年10月に元軍が対馬、壱岐島(長崎県)を襲撃したことから始まります。その後、元軍は博多湾に侵入し、上陸を開始。

これに対し、鎌倉幕府は九州各地の武士に参戦を呼びかけ、元軍が博多湾に上陸する頃には多くの武士が集まり、これを迎え撃ちました。

戦いの中で元軍は、それまで日本では用いられなかった集団戦法や、火薬を使った「てつはう」という武器により次第に優勢となりましたが、上陸の翌日に突然退却をしました。

日本では、この退却は「神風」により元軍が怯んだためと伝わってきました。

しかし、近年の研究では元軍の構成が多部族の混成軍であり、指揮官同士の確執により士気が上

がらなかったこと、兵が海を越えた遠征に慣れていなかったことなどが原因と考えられています。ともかく、慣れない戦いに奮闘した鎌倉武士の応戦により、1度目の侵攻は防がれたのでした。



中田敦之・池田榮史「元軍船の発見 鷹島海底遺跡」より作成